

## 令和6年度第3回美唄警察署協議会議事概要

1 開催日時	令和6年12月18日（水）午後4時0分から午後5時0分までの間		
2 開催場所	美唄警察署 大会議室 道場		
3 出席者	委員6人	警察署4人	
	会長 土肥康子 副会長 杉田肥英 委員 高橋とも子 委員 星野恒克 委員 馬場克遊 委員 松谷夢	署長 小田桐 隆一 副署長 渡辺 昭一 生課長 古路石 琢 地交課長 西村 浩	
4 開催状況	<p>(1) 会長挨拶                  今日第3回目の警察署協議会となりますが、第1回と第2回の警察署協議会にも議題に挙げた特殊詐欺が今日も新聞を賑わせ、本当に心が痛みますが、少しでも件数が減って欲しいと思っております。                  また、今年オリンピックがあり、美唄市出身の選手が頑張ってください、美唄という地名がSNSで広まりました。                  来年も皆さんが事故なく過ごしていただければと思っております。                  本日はよろしくお願いいたします。</p> <p>(2) 署長挨拶                  師走を迎え、私達は市民のために何ができたのか、評価してもらっているのかと1年を振り返る時期となりました。                  今年度の美唄警察署協議会も第3回目を迎え、残すところあと1回となりました。                  皆様の中には、これは良かったけどこれはまだまだだとか、来年はこんなことをしてもらいたい、そもそもそんな活動をしていたのか等と色々な意見要望があると思います。                  結果ができていないものについては、点検・軌道修正・補完をしながら、美唄市の未来のためにできることをしたいと考えていますので、皆さんには私達と美唄市民との架け橋として変わらぬお力添えをいただきますようお願いを申し上げます。                  本日はよろしくお願いいたします。</p> <p>(3) 業務説明                  ア 令和6年1月から12月までの活動状況                  イ 前回の警察署協議会における要望への対応結果の報告                  (ア) 道道美唄富良野線開通に伴う交通事故防止について                  (a) 要望内容                  道道美唄富良野線が開通し、交通量の増加に伴う交通事故の発生が懸念されることから、同路線の交通事故防止対策を講じてもらいたい。                  (b) 対応結果                  前回の警察署協議会以降、次の取り組みを推進して道道美唄富良野線の交通事故防止を図りました。                  ・ 道道美唄富良野線を速度取締り重点路線に指定して、速度違反をはじめとした交通違反の取締りを強化                  ・ ダミーオービスを設置してドライバーに注意喚起を実施                  ・ 通勤、通学時間帯に同路線のレッド警戒を実施                  ・ 関係機関・団体と連携し旗の波作戦やパトライト作戦の啓発活動を実施                  ・ 道路管理者に交通事故発生現場における警戒標識の設置を申し入れ（来春設置予定）                  ・ 美唄市教育委員会と同路線上の通学路の現場診断を実施して、危険箇所を改善                  ・ 北のひろめーるや報道機関を活用して、同路線に関する情報発信及び注意喚起を実施                  しかし、開通後に6件の物件交通事故が発生していることから、継続して活動を強化して参ります。                  なお、10月31日から美唄ダムから芦別市方向が通行止めとなっているものの、同所までの間に美唄国際スキー場やアルテピアッツァ美唄が所在し、行楽者の往来による交通事故の発生が予想されるため、悪天候時を重点にレッド警戒をはじめとした見せる警戒を強化します。</p> <p>(イ) 美唄市内における自転車利用者のヘルメット着用率の向上について                  (a) 美唄市内における自転車利用者のヘルメット着用が低調と認められるため、ヘルメットの着用率向上に向けて取り組んでもらいたい。                  (b) 対応結果                  前回の警察署協議会以降、次の取り組みを推進して美唄市内における自転車利用者のヘルメット着用率の向上に取り組みました。</p>		

- ・ 自転車利用者の交通違反に対する指導取締りを強化
- ・ ヘルメット着用を促すチラシを作成して、自転車利用者に配布
- ・ 駐輪場において主に高校生に対してヘルメット着用を指導
- ・ 各種講話や個別訪問の機会を通じて、美唄市民にヘルメット着用を指導
- ・ 美唄市役所、美唄市教育委員会と美唄市民のヘルメット着用向上に向けて連携を強化

来春から自転車のヘルメット着用者が増えたと思えるように今後も取り組んでいきます。

(4) 諮問事項

ア テーマ

冬期間における交通事故防止対策について

イ 警察署からの説明

過去2年の冬期間の交通事故発生件数の統計と各種交通事故発生防止対策の取組状況

ウ 協議

- 委員) 降雪期になり、スピードダウンや早めのデイライト等の広報啓発を継続して実施してもらいたい。
- 警察) 継続して広報啓発を実施します。
- 委員) 道路に雪を捨てる人等が散見されたので、雪を道路に捨てないという広報をして欲しい。
- 警察) 交通障害となりますので、そのような状況を見かけたら指導するとともに、広く広報してまいります。
- 委員) 高速道路から国道につながる道道と国道上の光珠内地区の2箇所橋でよく交通事故が起き、その2箇所が通行できなくなると美唄市内の交通網が麻痺するので、ドライバーに対し橋上の安全運転について広報啓発して欲しい。
- 警察) お話しのあった橋につきましては、現実に交通事故が多く発生しており、すでに対策に取り組んでいるところでありますので、次回の警察署協議会で取組結果について報告させていただきます。

(5) その他要望

ア 自転車乗車時のヘルメット着用について

- 委員) 小学校で来春からヘルメット着用が義務化になるとのことですが、学校から帰宅した子供が自転車を利用時のヘルメット着用率向上に向けて取り組んでももらいたい。

警察) 美唄市や教育委員会と連携して、小学生のヘルメット着用率の向上に取り組み、取組結果について次回の警察署協議会でご説明させていただきます。

イ 道道美唄富良野線の携帯電話の電波不感地帯対策について

- 委員) 道道美唄富良野線には携帯電話の電波が通じない不感地帯がありますが、そのような場所で交通事故が起きた時は、どう対応すればいいのですか。
- 警察) 車両が自走できなければ、通過車両に通報等を依頼したり、トンネル内の非常電話を利用しての通報となります。
- 委員) 美唄富良野線一帯が携帯電話で通話ができれば一番いいと思うが、警察署は何か対策を講じていますか。
- 警察) 通信エリア拡大の必要性について説明し、携帯電話会社に申し入れするよう働きかけています。
- 委員) 交通量の少ない夜間に事故で走行不能となった際、救急車を呼ぶような事故が起きた場合は、大変なことになると思うので、早く対応して欲しい。
- 警察) 企業の判断等もありますので、要望申し入れ等を今後も継続していきます。

5 術科訓練の観覧  
警察署員の現場に即した逮捕制圧訓練を観覧した。

6 次回開催予定  
令和7年3月中を予定